

必修科目
 選択科目
 保健師国家試験受験資格を得るための選択科目

カリキュラムポリシー	科目区分	1年	2年	3年	4年	ディプロマポリシー		
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	
＜基礎教養科目＞ 学士としての基礎教養力、科学的思考力、コミュニケーション能力および学習力を養い、看護学を学ぶ者としての人間性を育てるために、また、卒業後、看護職として社会で活躍する者として、レジリエンス(心の抵抗力)、困難や課題に立ち向かう能力の基盤を形成するために必要な生物学、化学、物理学、法学、哲学、社会学、心理学、体育、語学、情報リテラシー、セミナー等の基礎教養科目を配置する。	教養科目	入門セミナー		基礎セミナー				①学士としての基礎的能力:基礎教養科目等の履修を通じた知識及び能力を身につけることを通じ、今後、社会で活動するものとして、社会と積極的に関わる力、主体的に向き合っていく力、レジリエンス(心の抵抗力)および困難や課題に前向きに立ち向かう力を養うことができる。 ・言語能力(文章表現力、文章理解力、構成力) ・科学および論理的思考力(批判的思考力、理解力、判断力) ・コミュニケーション能力(心からの関心を持って他者を理解し、尊重する力、自身のメッセージを的確に伝達する力) ・創造力 ・自己認識力(自身の本質を自ら理解する力) ・生涯学習を続けるための自己研鑽能力
	自然科学	生物学の科学(生物学) 物質の反応(化学)	生化学 物質の科学(物理学)					
＜専門基礎科目＞ 根拠に基づく看護実践を可能にするための基盤を形成するために必要な、人体の構造と機能、疾病の成り立ちと回復促進、看護と情報、保健福祉制度と生活といった専門基礎科目を配置する。	人間科学系	法学(日本国憲法) 社会学 心理学 健康の創造(体育理論) 健康スポーツ(体育実技)	社会学 発達心理学 コミュニケーション論 栄養学と食育	東洋医学特講				②看護実践能力 ・行動レベルにとどまらず、総合能力としての看護実践に関わる基礎的能力(アセスメント力・技術力・問題解決能力) ・専門職人として、他者の理解および自身のメッセージについて根拠を持つためのコミュニケーション能力(情報収集力・説明力・対人関係能力) ・専門職人としての自己研鑽能力
	語学系	英語Ⅰ(精読入門) 中国語	英語Ⅱ(精読実践) 英語コミュニケーション	英語Ⅲ(速読入門) 英語Ⅳ(速読実践)	英語Ⅴ(原著精読) 英語Ⅵ(原著速読) 集中英語演習			
＜専門科目＞ 看護の専門性を探求し発展させるため、看護実践に関わる基礎的能力、専門職人としてのコミュニケーション能力、自己研鑽能力を培うために、必要な看護学の基礎、領域別看護実践、地域における看護実践、看護の発展といった看護専門科目および4年間での学びを統合し、自律して活動する専門職人としての態度、専門職人としての志向性を明確にし、看護を学ぶ者として極めていくことに関わる、総合演習、統合実習、看護研究といった今までの学びを統合する専門科目を配置する。	保健師国家試験受験資格科目	情報リテラシー入門 情報リテラシー実践						③看護専門職人としての世界観の探求 ・自律して活動する専門職人としての基本的態度(他者の尊厳と権利を擁護できる) ・自身の看護専門職人としての志向性を明確化 ・広い視点に立って、他の専門職を理解し、連携、協働する能力 ・看護専門職人に求められる看護の知を探求し、その世界観を創造するために必要な能力
	人間の構造と機能	人体の構造Ⅰ(臓器系) 人体の構造Ⅱ(体性系) 人体の機能Ⅰ(動物性機能) 人体の機能Ⅱ(植物性機能)	人体の構造Ⅱ(体性系) 人体の構造Ⅱ(体性系) 人体の機能Ⅰ(動物性機能) 人体の機能Ⅱ(植物性機能)					
＜専門科目＞ 看護の専門性を探求し発展させるため、看護実践に関わる基礎的能力、専門職人としてのコミュニケーション能力、自己研鑽能力を培うために、必要な看護学の基礎、領域別看護実践、地域における看護実践、看護の発展といった看護専門科目および4年間での学びを統合し、自律して活動する専門職人としての態度、専門職人としての志向性を明確にし、看護を学ぶ者として極めていくことに関わる、総合演習、統合実習、看護研究といった今までの学びを統合する専門科目を配置する。	保健師国家試験受験資格科目	病理解論 病態生理学	臨床薬理学概論 臨床疾患Ⅰ(内科系) 臨床疾患Ⅱ(外科系) 臨床疾患Ⅲ(腎臓/リハビリテーション/老年医学) 臨床疾患Ⅳ(小児) 臨床疾患Ⅴ(精神) 生体防御学					③看護専門職人としての世界観の探求 ・自律して活動する専門職人としての基本的態度(他者の尊厳と権利を擁護できる) ・自身の看護専門職人としての志向性を明確化 ・広い視点に立って、他の専門職を理解し、連携、協働する能力 ・看護専門職人に求められる看護の知を探求し、その世界観を創造するために必要な能力
	社会福祉学と保健師国家試験受験資格科目	社会保障・社会福祉の基礎	臨床薬理学概論 臨床疾患Ⅰ(内科系) 臨床疾患Ⅱ(外科系) 臨床疾患Ⅲ(腎臓/リハビリテーション/老年医学) 臨床疾患Ⅳ(小児) 臨床疾患Ⅴ(精神) 生体防御学	臨床薬理学概論 臨床疾患Ⅰ(内科系) 臨床疾患Ⅱ(外科系) 臨床疾患Ⅲ(腎臓/リハビリテーション/老年医学) 臨床疾患Ⅳ(小児) 臨床疾患Ⅴ(精神) 生体防御学	疫学・保健統計学			
＜専門科目＞ 看護の専門性を探求し発展させるため、看護実践に関わる基礎的能力、専門職人としてのコミュニケーション能力、自己研鑽能力を培うために、必要な看護学の基礎、領域別看護実践、地域における看護実践、看護の発展といった看護専門科目および4年間での学びを統合し、自律して活動する専門職人としての態度、専門職人としての志向性を明確にし、看護を学ぶ者として極めていくことに関わる、総合演習、統合実習、看護研究といった今までの学びを統合する専門科目を配置する。	看護学の基礎	看護学概論 看護理論の基礎 基礎看護方法Ⅰ(日常生活の援助技術) フィジカルアセスメント 導入基礎実習	基礎看護方法Ⅱ(除菌の補助技術) 看護過程論 基礎看護学実習	基礎看護方法Ⅲ(看護・治療・介護・症状別の援助技術)				③看護専門職人としての世界観の探求 ・自律して活動する専門職人としての基本的態度(他者の尊厳と権利を擁護できる) ・自身の看護専門職人としての志向性を明確化 ・広い視点に立って、他の専門職を理解し、連携、協働する能力 ・看護専門職人に求められる看護の知を探求し、その世界観を創造するために必要な能力
	看護学の基礎	看護学概論 看護理論の基礎 基礎看護方法Ⅰ(日常生活の援助技術) フィジカルアセスメント 導入基礎実習	基礎看護方法Ⅱ(除菌の補助技術) 看護過程論 基礎看護学実習	基礎看護方法Ⅲ(看護・治療・介護・症状別の援助技術)				
＜専門科目＞ 看護の専門性を探求し発展させるため、看護実践に関わる基礎的能力、専門職人としてのコミュニケーション能力、自己研鑽能力を培うために、必要な看護学の基礎、領域別看護実践、地域における看護実践、看護の発展といった看護専門科目および4年間での学びを統合し、自律して活動する専門職人としての態度、専門職人としての志向性を明確にし、看護を学ぶ者として極めていくことに関わる、総合演習、統合実習、看護研究といった今までの学びを統合する専門科目を配置する。	領域別看護実践	成人看護学概論 急性期看護演習 慢性期・終末期看護演習Ⅰ(実務的実習) 慢性期・終末期看護演習Ⅱ(看護的実習)	成人看護学概論 急性期看護演習 慢性期・終末期看護演習Ⅰ(実務的実習) 慢性期・終末期看護演習Ⅱ(看護的実習)	急性期看護論 慢性期・終末期看護演習Ⅰ(実務的実習) 慢性期・終末期看護演習Ⅱ(看護的実習)	急性期看護論 慢性期・終末期看護演習Ⅰ(実務的実習) 慢性期・終末期看護演習Ⅱ(看護的実習)			③看護専門職人としての世界観の探求 ・自律して活動する専門職人としての基本的態度(他者の尊厳と権利を擁護できる) ・自身の看護専門職人としての志向性を明確化 ・広い視点に立って、他の専門職を理解し、連携、協働する能力 ・看護専門職人に求められる看護の知を探求し、その世界観を創造するために必要な能力
	領域別看護実践	成人看護学概論 急性期看護演習 慢性期・終末期看護演習Ⅰ(実務的実習) 慢性期・終末期看護演習Ⅱ(看護的実習)	成人看護学概論 急性期看護演習 慢性期・終末期看護演習Ⅰ(実務的実習) 慢性期・終末期看護演習Ⅱ(看護的実習)	急性期看護論 慢性期・終末期看護演習Ⅰ(実務的実習) 慢性期・終末期看護演習Ⅱ(看護的実習)	急性期看護論 慢性期・終末期看護演習Ⅰ(実務的実習) 慢性期・終末期看護演習Ⅱ(看護的実習)			
＜専門科目＞ 看護の専門性を探求し発展させるため、看護実践に関わる基礎的能力、専門職人としてのコミュニケーション能力、自己研鑽能力を培うために、必要な看護学の基礎、領域別看護実践、地域における看護実践、看護の発展といった看護専門科目および4年間での学びを統合し、自律して活動する専門職人としての態度、専門職人としての志向性を明確にし、看護を学ぶ者として極めていくことに関わる、総合演習、統合実習、看護研究といった今までの学びを統合する専門科目を配置する。	地域看護学	在宅看護学概論 在宅看護援助Ⅰ(看護過程の展開) 在宅看護援助Ⅱ(活動の実践)	在宅看護学概論 在宅看護援助Ⅰ(看護過程の展開) 在宅看護援助Ⅱ(活動の実践)	在宅看護学概論 在宅看護援助Ⅰ(看護過程の展開) 在宅看護援助Ⅱ(活動の実践)	在宅看護学概論 在宅看護援助Ⅰ(看護過程の展開) 在宅看護援助Ⅱ(活動の実践)			③看護専門職人としての世界観の探求 ・自律して活動する専門職人としての基本的態度(他者の尊厳と権利を擁護できる) ・自身の看護専門職人としての志向性を明確化 ・広い視点に立って、他の専門職を理解し、連携、協働する能力 ・看護専門職人に求められる看護の知を探求し、その世界観を創造するために必要な能力
	地域看護学	在宅看護学概論 在宅看護援助Ⅰ(看護過程の展開) 在宅看護援助Ⅱ(活動の実践)	在宅看護学概論 在宅看護援助Ⅰ(看護過程の展開) 在宅看護援助Ⅱ(活動の実践)	在宅看護学概論 在宅看護援助Ⅰ(看護過程の展開) 在宅看護援助Ⅱ(活動の実践)	在宅看護学概論 在宅看護援助Ⅰ(看護過程の展開) 在宅看護援助Ⅱ(活動の実践)			
＜専門科目＞ 看護の専門性を探求し発展させるため、看護実践に関わる基礎的能力、専門職人としてのコミュニケーション能力、自己研鑽能力を培うために、必要な看護学の基礎、領域別看護実践、地域における看護実践、看護の発展といった看護専門科目および4年間での学びを統合し、自律して活動する専門職人としての態度、専門職人としての志向性を明確にし、看護を学ぶ者として極めていくことに関わる、総合演習、統合実習、看護研究といった今までの学びを統合する専門科目を配置する。	公衆衛生看護学	公衆衛生看護学概論 公衆衛生看護学各論 公衆衛生看護学管理論	公衆衛生看護学概論 公衆衛生看護学各論 公衆衛生看護学管理論	公衆衛生看護学概論 公衆衛生看護学各論 公衆衛生看護学管理論	公衆衛生看護学概論 公衆衛生看護学各論 公衆衛生看護学管理論			③看護専門職人としての世界観の探求 ・自律して活動する専門職人としての基本的態度(他者の尊厳と権利を擁護できる) ・自身の看護専門職人としての志向性を明確化 ・広い視点に立って、他の専門職を理解し、連携、協働する能力 ・看護専門職人に求められる看護の知を探求し、その世界観を創造するために必要な能力
	公衆衛生看護学	公衆衛生看護学概論 公衆衛生看護学各論 公衆衛生看護学管理論	公衆衛生看護学概論 公衆衛生看護学各論 公衆衛生看護学管理論	公衆衛生看護学概論 公衆衛生看護学各論 公衆衛生看護学管理論	公衆衛生看護学概論 公衆衛生看護学各論 公衆衛生看護学管理論			
＜専門科目＞ 看護の専門性を探求し発展させるため、看護実践に関わる基礎的能力、専門職人としてのコミュニケーション能力、自己研鑽能力を培うために、必要な看護学の基礎、領域別看護実践、地域における看護実践、看護の発展といった看護専門科目および4年間での学びを統合し、自律して活動する専門職人としての態度、専門職人としての志向性を明確にし、看護を学ぶ者として極めていくことに関わる、総合演習、統合実習、看護研究といった今までの学びを統合する専門科目を配置する。	看護の統合と実践	国際看護論 看護情報学 看護研究の基礎	国際看護論 看護情報学 看護研究の基礎	国際看護論 看護情報学 看護研究の基礎	国際看護論 看護情報学 看護研究の基礎	看護管理論 統合実習 シミュレーション演習 研究ゼミナールⅡ(研究の実践) 公衆衛生看護学研究 総合演習Ⅰ(看護知識の整理と統合) 総合演習Ⅱ(公衆衛生看護学活動の展開)		③看護専門職人としての世界観の探求 ・自律して活動する専門職人としての基本的態度(他者の尊厳と権利を擁護できる) ・自身の看護専門職人としての志向性を明確化 ・広い視点に立って、他の専門職を理解し、連携、協働する能力 ・看護専門職人に求められる看護の知を探求し、その世界観を創造するために必要な能力
	看護の統合と実践	国際看護論 看護情報学 看護研究の基礎	国際看護論 看護情報学 看護研究の基礎	国際看護論 看護情報学 看護研究の基礎	国際看護論 看護情報学 看護研究の基礎	看護管理論 統合実習 シミュレーション演習 研究ゼミナールⅡ(研究の実践) 公衆衛生看護学研究 総合演習Ⅰ(看護知識の整理と統合) 総合演習Ⅱ(公衆衛生看護学活動の展開)		